

ななむら

第54号

発行：照来地区公民館

責任者：館長

☎ 92-1738

令和元年12月1日現在

世帯数 536世帯

人口 1,524人

(男709人、女815人)

今年も残りわずかとなりました！

年の瀬を迎えお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

今年一年、照来地区の皆さまには照来地区公民館事業の推進に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

お蔭をもちまして、事業の方も順調に進んでおります。今後も、皆さまのご意見をいただきながらより良い公民館にしていきたいと思います。

来年も皆さまにとりましてすばらしい年になりますようご祈念申し上げ、この一年のお礼とさせていただきます。

今年も
お世話に
なりました

年の瀬

「年の瀬」って？

お礼の文章を書きながら、年末のことを何故「年の瀬」と言うのか気になり調べてみました。

知らないのは私だけかもしれませんが・・・。

そもそも「瀬」とは、流れの速い川を意味する言葉で、その「瀬」と「年」を組み合わせた「年の瀬」は、「一年の一番忙しい時間が速く過ぎていく時期」を表しているようです。



「寄せ植え教室」を開催しました！

12月15日（日）照来地区公民館において、浜坂のフラワー装飾一級技能士の杉本りつえ先生をお招きし、正月用の『寄せ植え教室』を開催しました。

20名の定員に対し19名の参加申込みがありました。本当に多くの方に参加していただき感謝申し上げます。

教室では、先生から花の配置やポットから出して植える時の注意点など説明していただいた後、それぞれオリジナルの寄せ植えを完成させていきました。

今年は、昨年に比べ器が大きく持って帰るのに苦労されたと聞きました。来年の課題としたいと思います。

この「寄せ植え教室」は、地区公民館事業の中で唯一休日の昼間に行う事業で、夜間参加できない方にとっては参加しやすかったのかなと思います。

実は、「昼間だったら参加できるけどなあ」という意見は、以前から聞いていました。今後は、休日の昼間に開催する事業を考えていかなければならないと感じているところです。



今後の事業予定

○「メディカルヨガ教室」

○「ななむらうぐいす会」

1月、2月は、積雪が予想されるためお休みとします!



雪



流行語大賞は「ONE TEAM」

その年の話題となった新語・流行語を決定する、年末恒例の「2019ユーキャン新語・流行語大賞」が発表され、「年間大賞」に日本が初の8強入りを遂げ、列島が沸いたラグビーW杯日本大会の日本のチームスローガン「ONE TEAM (ワンチーム)」が輝きました。

照来も

ONE TEAM

になりましょう!

私も、心をつにして戦う日本チームに感動し、全試合を観ました。

ちなみに、私は「にわかラグビーファン」ではありません。以前からのラグビーファンで、特に「神戸製鋼」のファンで試合も観に行ったこともあります。(すみません個人的なことでした。(笑))

照来の歴史⑩ 照来小学校校歌 作詞者 「下野金太郎先生」

先日、下野金太郎先生の「わが生涯記」(昭和62年発行)を読みました。照来小学校の校歌を作詞された先生ということで、照来小学校の卒業生の皆さんはご存知かと思います。この「わが生涯記」は、先生が、明治41年旧大庭村久谷に誕生してから昭和61年までの出来事が綴られていました。特に40年間の教員生活のことが赴任先の学校ごとに書かれていました。

もちろん、照来小学校に校長として赴任された昭和27年4月から退任される昭和31年5月までの4年1ヶ月のことも書かれています。

その冒頭に「私が遍歴した小中学校は10校で、それぞれに事情が違い長短はあったが、その中で一番深い印象を残している。沢山の仕事をやり、又それができたと思っている。村長以下全村民から喜んで迎えられ、公私の生活全てに亘って暖かい協力をいただいて、終生忘れ得ない深い想い出も多く、第二の故郷とでもいえる懐かしさに包まれる。」とあり、他に赴任された9校のどこよりも、「照来は第二の故郷」と言われているように、照来が一番居心地が良かったのではないかと思います。

この続きには、「着任の挨拶まわりで、行く先々でコップの冷や酒の接待には参ってしまった。」と書かれており、照来らしいと思わず笑ってしまいました。

また、校歌を作ったときのことも書かれていました。

「校歌がない事に気がついた。誕生以来歌など作ったことのない私だったが、私が作詞するのが一番よいと考えて、苦心さんたん訂正に訂正を重ねて、2ヶ月もかかって作り上げた。作ったというよりもこね上げたといった方が適切であったと思っている。学校の環境に接したこともなく、村の実態も掴めていない著名な人に作詞を依頼して、児童が理解も出来ない文語調のものが作詩されるより、少々下手でも児童達が理解しやすく、親しみやすいだろうと考えて作詞した。」とあります。大変苦労されたことが伺えます。

照来のことが良くわかり心に響く本当にいい校歌だと思います。

